

「輸送・貯蔵専門調査会」2019年度会員募集について

2019年
一般社団法人 日本原子力産業協会

当協会は、産業基盤強化活動として、「輸送・貯蔵専門調査会」を設置して、専門分野に関する情報の共有化、業界の相互交流の場を提供し、輸送・貯蔵関連産業の育成・発展を図るための業際活動を実施いたしております。具体的には定例会において、講演、パネル討論、施設見学および意見交換を実施いたしております。

つきましては、各種関連業務に従事される方々におかれまして、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

○会員募集要綱

1. 趣旨 別紙－1

※参考資料に活動実績を添付します。

2. 調査会年会費：1名につき(消費税別)

日本原子力産業協会の会員企業・機関にご所属の方……130,000円
(準会員:20,000円)
上記以外の方……………260,000円
(準会員:40,000円)

同企業・機関にご所属の2人目からは、準会員制度の適用があります。

年会費は、定例会合費、資料代等活動の運営に充当します。

ただし、施設見学会等の特別な費用は除きます。

3. お申込み

以下の5項目について下記問い合わせ先まで、メール等にてご連絡下さい。

①(ご登録者)氏名・フリガナ

②会員の種類(正会員もしくは準会員)

③連絡先(会社(団体)名、所属・役職、住所、電話、FAX、E-mail)

④請求書送付先(※上記連絡先と異なる場合にご記入下さい)

⑤ご希望の講演テーマ・講演者、施設見学先(※ご意見・ご要望等がございましたら、ご記入下さい)

4. 問い合わせ先

一般社団法人 日本原子力産業協会 地域交流部
〒102-0084 東京都千代田区二番町11-19 興和二番町ビル 5階
TEL:03-6256-9314 FAX:03-6256-9310
E-mail:yschosakai@jaif.or.jp

以 上

「輸送・貯蔵専門調査会」について

趣旨：

放射性物質輸送は、原子力開発利用の進展にともない多種・多様化している。特に近年では、使用済燃料の中間貯蔵、MOX 燃料製造、原子炉廃止措置など諸情勢の新展開に対し、所要の機器やシステムの研究開発および技術的対応、規格基準の整備など、適確に対応していくことが求められている。さらにこれらは、国際標準や国際条約の要件を満たすことも必要である。また、燃料、廃棄物の貯蔵とのインターフェイスが重視され、システムとしての技術開発も重要となっている。

「輸送・貯蔵専門調査会」は、原子燃料物質等の輸送および貯蔵に関する研究・技術開発動向、ならびに関連法令や技術基準の国際動向などの現状および将来見通し、課題・対策などに関して、講演、パネル討論、関連施設の見学および意見交換を通じ、専門情報の提供・交流を行い、産業界の発展に資することを目的とする。

【コーディネータ】

有富 正憲 東京工業大学 名誉教授， 産学官連携研究員

【副コーディネータ】

伊藤 大一郎 原燃輸送(株) 設計・開発部 規格基準グループ グループマネージャー

【活動内容】

参加会員から希望テーマ(講演・見学先)の提案を受けた上で、それに基づき企画し、年間7回(2019年7月から1年間)程度の定例会合を実施する。テーマは、半期ごとに幹事会にて検討し、会員にお知らせする。

【テーマの例】

- ① IAEA を中心とする国際動向および国内法令、規則等の改定動向
- ② 国内および海外における使用済燃料の中間貯蔵、原子燃料物質の輸送の現状と将来の課題
- ③ 学会、および民間基準策定の動向と課題
- ④ 原子燃料サイクル施設と輸送問題の検討
- ⑤ 廃炉や設備更新に伴う大型放射性廃棄物や大量の放射性廃棄物の処分に関する輸送の課題等
- ⑥ 地震に伴う原発事故の現状と今後の取組み

(参考資料)

2018年度の活動

(敬称略)

No.	開催日	テーマ	講演者
第 91 回 2018-1	7月 31 日	①新組織(原子力エネルギー協議会)の設立と取組みについて ②近畿大学研究炉の再稼働について ③米国の使用済み燃料貯蔵の現状	示野 哲男(ATENA) 芳原 新也(近畿大学) 浅野 良二(輸送・貯蔵を語る会)
第 92 回 2018-2	9月 11 日	①第 5 次エネルギー基本計画について ②日本の放射性物質安全規制状況の IAEA への報告と IRRS における放射性物質輸送規制の評価について ③放射性物質輸送に関する国際会議(RAMTransport2018)について	小泉 真認(経産省) 羽田 慎之介(原子力規制庁) 亘 真澄(電中研)
第 93 回 2018-3	10月 4～5 日	見学会 日本原燃(株) 六ヶ所原燃サイクル施設	六ヶ所原燃サイクル施設 概要説明と見学
第 94 回 2018-4	12月 4 日	①核セキュリティの検討状況 ②輸送物海没時の海洋放出評価の高度化 ③新検査制度、福島廃炉を取り巻く環境への対応の提案	飯田 透(JAEA) 津 ^つ 旨 ^{むね} 大輔(電中研) 鈴木 浩(三菱総研)
第 95 回 2018-5	2月 19 日	①使用済燃料と高レベル放射性廃棄物の管理 ②輸送規制の黎明期の状況 ③IAEA輸送規則 SSR-6 Rev.1の改定内容について	澤田 佳代(名古屋大学) 青木 照美(元科学技術庁) 広瀬 誠(東工大)
第 96 回 2018-6	3月 12 日	①原子力災害といのちの保全-哲学の視点から- ②バックエンドロードマップについて ③放射性物質輸送関連 ISO 規格の改定動向-UF6 シリンダ、トラニオンなど-	一ノ瀬 正樹(東京大学) 門馬 利行(JAEA) 松田 昭博(筑波大学)ほか
第 97 回 2018-7	5月 21 日	①使用済燃料貯蔵用兼用キャスクに係る規制基準の動向について ②米国 使用済燃料集中貯蔵施設計画の現状 ③LLW運搬船青栄丸後継船建造	森光 ^{ともゆき} 智千(原子力規制庁) 亘 真澄(電中研) 影山 典広(トランスニュークリア) 高月 英毅(原燃輸送)

2017年度の活動

(敬称略)

No.	開催日	テーマ	講演者
第 84 回 2017-1	7月 25 日	①サイバー攻撃の最新動向と対策 ②放射線障害の機構並びに防護・回復 ③NUMOの取組について	大場 守(トライデア) 鴨田 浩明(NTTデータ) 香川 靖雄(女子栄養大学) 山田 基幸(NUMO)
第 85 回 2017-2	9月 12 日	①放射性核種毎の防護上の制限値について ②英国向けABWRの一般設計評価(GDA)の状況 ③ロシアの原子力動向	山中 庸靖(元日立製作所) 吉川 和宏(日立GE) 小林 雅治(JAIF)
第 86 回 2017-3	10月 26 ～27 日	見学会 東北電力(株) 女川原子力発電所	女川原子力発電所 概要説明と見学
第 87 回 2017-4	12月 16 日	①東京電力福島第一原子力発電所の事故により生じた福島県内の除染土壌等の輸送・貯蔵について ②海事セキュリティと国際基準 ③PWR使用済燃料貯蔵実証試験及び乾式貯蔵に関する規制見直しの動向について	松浦 利之(環境省) 太田 進(海技研) 島田 太郎(日本原電)
第 88 回 2017-5	2月 13 日	①高レベル放射性廃棄物を地下深く ^{しま} 終う地層処分 ②廃棄物の処理・処分に係る課題 ③廃止措置と輸送について	増田 純男(原安協) 澁谷 進(RANDEC) 苅込 敏(原電)
第 89 回 2017-6	3月 13 日	①東京電力福島第一原子力発電所における廃棄物関連の課題について ②IAEA 輸送緊急時対応ガイド(TS-G-1.2)の改定状況および今後の課題 ③確実な核燃料物質輸送に関する一考察	河野 直文(東電 HD) 伊藤 大一郎(原燃輸送) 小山 幹一(東工大)
第 90 回 2017-7	5月 22 日	①ふくしまの復興に向けての取り組みについて ②内部脅威対応(個人の信頼性確認制度)について ③WNTIの活動について(WNTI設立 20 周年)	川瀬 啓一(JAEA) 中沢 直(東電 HD) 伊藤 剛啓(国交省) 古賀 建(原燃輸送)

2016年度の活動

(敬称略)

No.	開催日	テーマ	講演者
第 77 回 2016-1	7月 26 日	①LLW ボルト折損事象 ②サルベージ技術について ③放射線防護と ICRP ー活動と今後の展望ー	垣内 祥光(原燃輸送) 岡部 幸夫(原燃輸送) 木田 聡範(深田サルベージ建設) 佐々木 道也(電中研)
第 78 回 2016-2	9月 27 日	①危険物の海上輸送規則 ②米国貯蔵許認可更新に関する NUREG の改訂 ③RI 輸送における温故知新	濱田 高志(日本海事検定協会) 亘 真澄(電中研) 五味 邦博(RI 協会)
第 79 回 2016-3	10 月 20 ～21 日	見学会 中国電力(株) 島根原子力発電所	島根原子力発電所 概要説明と見学
第 80 回 2016-4	11 月 29 日	PATRAM2016(神戸)報告 1)日本で開催!?(はじめに) 2)PATRAM2016 の準備、運営 3)興味深い発表がたくさん ①技術分野1(設計、輸送貯蔵など) ②技術分野2(解析、収納物など) ③技術分野3(運搬方法、規制など) ④技術分野4(プレナリー、ポスター発表) 4)発表だけじゃない(展示、晩餐会など) 5)終わってみれば(総括)	伊藤 大一郎(原燃輸送) 近内 亜紀子(海技研) いしこ 石生 大 一(三菱重工) 影山 典広(トランスニュークリア) 藤田 佳之(原燃輸送) 伊藤 大一郎(原燃輸送) 山崎 俊明(日軽金アクト) 伊藤 大一郎(原燃輸送)
第 81 回 2016-5	2月 14 日	①キャスクメーカーの輸送貯蔵容器の開発の取り組み ②核燃料物質輸送における交通事故を想定した緊急時対応訓練	神戸製鋼/トランスニュークリア、東芝、日立 GE、日立造船、三菱重工 北村 隆文(エイ・ティ・エス)
第 82 回 2016-6	3月 21 日	①使用済燃料対策について ②使用済燃料再処理機構について ③原子力安全文化を考える ④IAEA 輸送事故時ガイド文書について	橋場 芳文(経産省) 瀧上 純一郎(使用済燃料再処理機構) 小鍛冶 市造(オー・シー・エル) 伊藤 大一郎(原燃輸送)
第 83 回 2016-7	5月 23 日	①検査制度の見直しに対する事業者の考え方および今後の進め方について ②地層処分に関する地域の科学的な特性の提示に係る要件・基準における輸送の役割 ③IAEA 輸送規則 2018 年版について	尾野 昌之(電気事業連合会) 三枝 利有(電中研) 近内 亜紀子(海技研)